

NTT-ATの5つのビジョン。



**WinActor Ver.7 をお使いいただくための準備
(Ver.5/Ver.6 をご利用中の方向け)**

2021年10月

NTTアドバンステクノロジー株式会社

本資料は 現在 WinActor Ver.5 または Ver.6 をお使いの方が、
WinActor Ver.7 に移行する際の準備・注意点に関して説明するためのものです。

WinActor Ver.7 シリーズの詳細については、
リリースノート・マニュアル、または NTT-AT社 FAQページ
http://www.matchcontact.net/winactor_jp/
を参照ください。



1. WinActor Ver.5/Ver.6 をお使いの方が Ver.7 をお使い頂くために必要な準備

WinActor Ver.7 は、WinActor Ver.5/Ver.6 がインストールされた PC に、そのままインストールしてお使いいただく事が可能です。

WinActor Ver.7は、WinActor Ver.5/Ver.6と同じPCで同時に使用することが可能なため少しずつ移行が出来ます。

【注意】

- WinActor Ver.5/Ver.6 と同じフォルダにインストールした場合の動作は保証できません。
(デフォルトでは別のフォルダにインストールされます)
- Ver.7とVer.5/Ver.6 を同時にシナリオ実行した場合の動作は保証できません。
- Ver.5とVer.6は同時に使用することはできません。

ノードロックライセンス版をお使いの場合、

WinActor Ver.5/Ver.6 のライセンスで、WinActor Ver.7 を使用できます。

(フローティングライセンス版の場合、それぞれにライセンスが必要です)

以下の場合には「ライセンスの引継ぎ作業」が必要です。

(WinActor操作マニュアル: WinActor Operation Manual 3-13 バージョン情報画面 / 3-13-3 ノードロックライセンス 参照)

- A) OSが Windows 10 であり、且つ WinActor Ver.5/Ver.6 を標準ユーザー用インストーラを用いてインストールした場合
- B) A)の環境でWinActor Ver.5/Ver.6 のアップデート等で再インストールやライセンスの更新を行った場合
- C) A)の環境でWinActor Ver.7 を再インストールやライセンスクリアを行った場合

➤ OSが Windows Server2016 である場合、または、WinActor Ver.5/Ver.6 を管理ユーザー用インストーラを用いてインストールした場合は、「ライセンス引き継ぎ作業」は不要です。

Ver.5/Ver.6 のシナリオをVer.7で実行する



WinActor Ver.7 は、WinActor Ver.5/Ver.6 のシナリオファイル (拡張子ums5/ums6) を、そのまま読み込んで実行できます。
特に準備は必要ありません。

シナリオ実行に関していくつか異なる点があります。次章を参照ください。

【注意】

WinActor Ver.7 で、WinActor Ver.5/Ver.6 のシナリオファイルを読み込んで保存すると、WinActor Ver.7 のシナリオファイル (拡張子 ums7) で保存されますのでご注意ください。

(読み込んだ WinActor Ver.5/Ver.6 のファイルはそのまま残ります)

2. WinActor Ver.5/Ver.6 と異なる点

ソフトウェア動作環境およびハードウェア推奨環境 v6.3.1とv7.3.0の比較表

項目	V6.3.1 仕様	V7.2.1 仕様
オペレーティングシステム	Windows 7 Professional SP1 Windows 8.1 Pro update1 Windows 10 Pro Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016	Windows 10 Pro Windows Server 2016 Windows Server 2019
実行環境		Microsoft .NET Framework 4.8以上 (Win10 1909以降なら搭載されています。)

項目	V6.3.1 推奨スペック	V7.3.0 推奨スペック
CPU	4コア、2.5 GHz以上の x86 または x64プロセッサ	Core i3-6100(2コア、3.7GHz)以上の x86または x64プロセッサ
メモリ	—	2GB以上
HDD	空き容量 3.0GB以上	空き容量 3.0GB以上
画面	1024×768 以上	FHD(1920×1080)以上
サウンド	シナリオ中で音を出すための サウンド機能	シナリオ中で音を出すための サウンド機能

分岐、多分岐、繰り返し、後判定繰返の条件式で扱える数値の範囲を広げました。

小数が利用可能となります。

対象条件式 $=, \neq, >, <, \geq, \leq$

整数範囲 $-9,223,372,036,854,775,808 \sim 9,223,372,036,854,775,807$

Ver.6 整数範囲 $-2,147,483,648 \sim 2,147,483,647$

小数 $-1.79769313486232E+308 \sim 1.79769313486232E+308$

整数と小数の比較も可能です。

今までユーザライブラリを利用して行っていた数値比較の多くが、条件式で直接比較を行うことが可能になります。

四則演算ノードで扱える数値の範囲を広げました。
小数が利用可能となります。

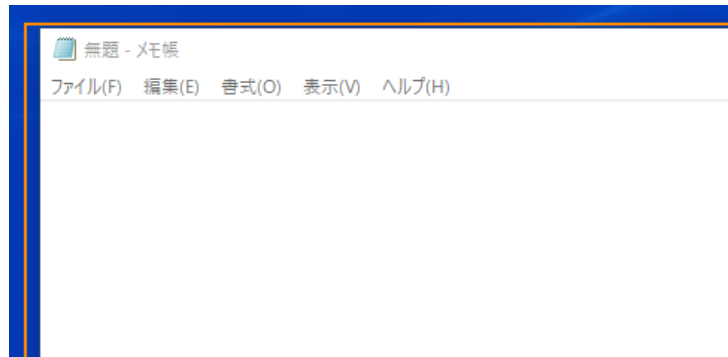
整数範囲	$-9,223,372,036,854,775,808 \sim 9,223,372,036,854,775,807$
Ver.6 整数範囲	$-2,147,483,648 \sim 2,147,483,647$
小数	$-1.79769313486232E+308 \sim 1.79769313486232E+308$

- 整数 $\pm$ 整数, 整数 $\times$ 整数 は整数範囲に収まる場合は結果は整数となります。
- 整数 $\div$ 整数は、割り切れる場合は整数、割り切れない場合は小数となります。
- 整数と小数の四則演算の結果は小数になります。小数の演算では誤差が生じます。
- 表示上整数に見える場合もあります。

シナリオの挙動が変わる可能性があります。



ウィンドウ枠の座標の取得方法が変更されます。



Ver.6では、ウィンドウの影の領域を含んで枠のサイズが取得されています。この影はユーザのOSテーマ設定等で変わる可能性があります。



Ver.7では、シナリオの挙動がユーザのOSテーマ設定に依存しないようにするために、影の領域を含まずにウィンドウ枠のサイズを決定します。

Ver.6のシナリオファイルにてウィンドウの4隅からの相対座標で指定されたアクションがVer.7では正しく動かなくなる可能性があります。

前ページのとおり、WinActor Ver.7 では、ウィンドウ枠の座標の取得方法が変更されています。

WinActor Ver.7.2以降よりWinActorEye は、**Ver.6.3 またはVer.7の座標の取得方法を選択可能です**。スナップショットの設定画面で、ドロップシャドウの有無を選択してください。「ドロップシャドウを含まずにスナップショットを取得する」を選択すると、Ver.7の座標の取得方法が選択されます。

注意：WinActor Ver.7.1 WinActorEye は、Ver.6.3 のものを使用しています。そのため、ウィンドウ枠の座標の取得方法は、Ver.7 の他の機能と異なり Ver.6 の取得方法が使用され、ウィンドウ枠の影の有無の影響を受けます。

Ver.7では以下の上限を撤廃し**Ver.6の上限を越えたシナリオを作成することができるようになりました。**

※大量に設定することは実行速度等に影響を与えますので、環境に合わせた調整をお願いします。

① 変数登録数の上限について

Ver.6では256個までとなっていたましたが、Ver.7では上限を撤廃しました。

② 多分岐ノードの分岐数の上限について

Ver.6では52個までとなっていたましたが、Ver.7では上限を撤廃しました。

③ 例外処理ノードの例外処理数の上限について

Ver.6では11個までとなっていたましたが、Ver.7では上限を撤廃しました。

④ 監視ルール数の上限について

Ver.6では50個までとなっていたましたが、Ver.7では上限を撤廃しました。

ユーザライブラリ、その他の変更点（主要なもののみ）



1. **04_自動記録アクションの「リスト一括取得（IE）」**にて、選択肢が一つもないリストをファイルに保存した場合、Ver.6では""が出力されますが、Ver.7では空のファイルを出力するようにしました。
2. **Windows 10における設定情報について**、Ver.6では同一PC上の全てのWindowsユーザーで共通の設定情報を使用しておりましたが、Ver.7ではWindowsユーザーごとに設定情報を持つように変更しました。
3. WinActor Ver.5/Ver.6とVer.7では、**シナリオの実行速度、画面の描画タイミング、画面の表示位置**が異なるため、これらに依存するシナリオファイルはVer.5/Ver.6と同様には実行できない可能性があります。
4. WinActor Ver.5/Ver.6 では、**データー一覧のCSV読み込み**で、CSVファイルに**連続する改行文字が含まれている**場合は、そのまま変数に格納されますが、Ver.7 では、**1つの改行文字にまとめて**読み込まれます。そのため変数の値が Ver.5/Ver.6と Ver.7 では異なる可能性があります。
 - Ver.7.2 ではオプション画面の設定で、「CSVファイル読み込み時に連続する改行文字をまとめる」か否かを選択できるようになりました。



WinActor[®]

WinActor Ver.7 をお使いいただくための準備

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2013-2021 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

未来を拓くチカラと技術。

